

2013年4月17日

各 位

CKD株式会社

<http://www.ckd.co.jp/>

業界トップレベルの高速検査を実現した デュアルレーン対応3次元はんだ印刷検査機 「VP5200MD-V」発売のお知らせ

当社は、電子部品実装業界で初めて3Dはんだ印刷検査の自動化を実現して以来、お客様から高い評価をいただいております。「はんだ印刷検査機」分野では国内トップメーカーであります。今回、長年培ってまいりました検査技術を活かし、より高い生産性が実現できる業界最速レベルのデュアルレーン対応機「VP5200MD-V」を発売いたしますのでお知らせいたします。

1. 開発の背景

近年、スマートフォンを代表とするモバイル通信機器やデジタルカメラ等のデジタル家電製品の生産が東アジアを中心に急激に拡大しており、生産ラインの高速化・効率化が求められています。当社は好評である使い易い操作性はそのままに、お客様の生産ラインの効率化に寄与できるデュアルレーン（※1）対応機「VP5200MD-V」を開発いたしました。

※1 デュアルレーン

生産効率を上げ高速生産を可能にするために2列で生産する生産形態

2. 特長および新たな取り組み

2ユニットの検査機を採用し完全に独立した検査を可能にした結果、従来の操作性・高精度を維持しながら業界トップレベルの検査速度及び省スペース化を実現しました。

また、機械前面のタッチパネルにより前後2列の検査ラインの操作や検査状況の確認が可能です。

- (1) 業界トップレベルの検査スピード
- (2) コンパクト設計による省スペース化
- (3) 2ユニットの完全に独立した検査により検査ロス時間削減
- (4) 機械前面のタッチパネルにより前後2列の検査ライン操作可能
- (5) 従来機とのプログラム共用、データ通信可能

【主な仕様】

- (1) 対象基板 50mm×50mm ~ 330mm×300mm
- (2) 検査時間 MAX 17,000mm² /秒
- (3) 検査精度 体積繰返し精度 3%以内
- (4) 検査分解能

	水平分解能		
標準計測	25μ	20μ	15μ
高分解能計測	12.5μ	10μ	7.5μ

- (5) 検査項目 印刷されたクリームはんだの体積・かすれ・にじみ・突起・位置ずれ・無はんだ・ブリッジ

【定価】（機械標準本体）

定価 ： 1,800万円

【販売計画】

- 2013年度 ： 3.6億円（20台）
- 2014年後 ： 9.0億円（50台）

【発売時期】

2013年5月1日

【お問合せ先】

CKD株式会社 総務部 杉浦または俊長

TEL 0568-74-1111

FAX 0568-77-1123

以上

